

2025年8月15日
第171号



国労九州

〒812-0013 福岡市博多
東3丁目9番3号
ニッコー・ハイツ
1003092-483-1515
発 責 千々岩 隆
編 書 水 流 彰



第53回国鉄原爆死没者慰霊式！



広島・長崎への原爆投下から80年を迎えます。8月9日長崎に投下された原子爆弾により一瞬で7万人もの命を奪いました。国鉄で働いていた職員も150人以上が死傷し、駅舎も倒壊・焼失するなど甚大な被害を受けましたが、それでも使命から、被災者救済の為に救援列車など走らせ、救援に奔走しています。

国労は毎年、こうした国鉄死没者の慰霊式を開催して53回を迎えることとなりました。式典は原爆が投下された午前11時2分に黙とうを捧げ、遺族代表・会社代表

・国労各機関の35名が参加して開催されました。中央本部宮崎委員長から「平和憲法を守り抜き、反戦・平和・核兵器廃絶を世界に向けて発信することが重要」と追悼の辞が述べられました。合祀者は、1名増え217名となっています。被爆者の平均年齢も86歳となり、今後どのように被爆実態を伝承していくのか問われています。

国労は、引き続き核の使用と共有を許さず、これまで築き上げられた被爆運動の意思を引き継いでいく事を誓い合い式典を閉会しました。

日本政府は核兵器禁止条約を批准せよ！

核兵器禁止条約は、核兵器を「非人道的兵器」として、その開発、保有、使用あるいは、使用の威嚇を含むあらゆる活動を例外なく禁止した国際条約です。2017年7月に国連総会で採択され、2020年の10月には発効に必要な50カ国が批准したため発効しました。（現在は署名94カ国・批准73カ国）

また、昨年は長年核廃絶の運動を続けてきた日本被団協がノーベル平和賞を受賞するなど、核廃絶の動きは高まっています。しかし、日本政府は、核兵器の非人道的性、は言うものの、こうした条約には、全く背を向け批准どころか、締約国会議へのオブザーバー参加もしていません。米国の核の傘に守られて「核抑止」にしがみついています。世界で唯一の被爆国である日本だからこそ、条約を批准し、核廃絶のリーダーシップを取るべきです。

<当面する行動>

- 国労九州本部第42回定期大会
日 時 8月28日（木）10:30~受付
労働講座 10:45~
大 会 12:00~
場 所 博多リファレンス駅東 2階
- 九州本部レク
日 時 9月7日・8日 久留米市田主丸

がん保険にできることを、
もっと。

NEW
「生きるを創る
がん保険」
WINGS

1 幅広い保障で
経済的負担をサポート
治療前の検査から治療後の外観ケアまで
幅広い保障でしっかり備えることができます。

2 付帯サービスがアフラックのよりそうがん相談サポート（※1）
アフラックのよりそうがん相談サポーターが
さまざまな悩みの解決をサポート
「がんかもしれない」と思ったときから
専門知識を持つ相談員が親身にお応えします。

（※1）アフラックのよりそうがん相談サポートはHatch Healthcare株式会社またはHatch Healthcare株式会社の提携先が提供するサービスであり、アフラックの保険契約による保障内容ではありません。
サービスの詳細は、アフラック公式サイトホームページ（<https://www.aflac.co.jp/keiyaku/gansoudansupport.html>）をご確認ください。

（販売代理店）アフラックは代理店制度を採用しています
アベニール株式会社
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5
交通ビル9階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

（受保険会社）
「生きる」を創る。
アフラック
東京第二法人営業部
東京都千代田区丸の内1-6-1
丸の内センタービル13階
TEL.03-6385-9829 FAX.03-3218-3885